

観光局との連携強化し プロモーション展開

JOTCのミクロネシア・サブ部会

JATAアウトバウンド促進協議会(JOTC)北中南米部会のミクロネシア・サブ部会は7月10日、グアム政府観光局本局との会議を実施し、日本からの旅行者増加に向けて意見交換を行いました。

部会活動の一環として実施された会議には、北中南米部会の生田亨部会長、ミクロネシア・サブ部会の梶原友幸部会長、グアム政府観光局理事会兼日本マーケティング委員会のウイリアム・ソルト会長、グアム政府観光局ジョン・ネイサン・テナイト局長などが出席。グアムを訪れる日本人旅行者が減少している現状を踏まえ、グアム政府観光局と旅行会社の連携を強化し、若者ファミリー層を軸にしつつ、スポーツやウエディングといったセグメントにも訴求を



JOTCミクロネシア・サブ部会とグアム政府観光局による会議の出席者ら

図る各種プロモーションを展開するほか、グアム政府観光局とJOTCの間で年間日本人旅行者数の数値目標を設定することなどについて協議を行いました。

グアムでは、昨年の北朝鮮によるミサイル発射問題などのダメージが大きかったものの、朝鮮半島情勢に安定化の兆しが見られることや、日本/グアム路線における機材の大型化や就航便数の維持、新規就航やチャーター便の増加など、市場を取り巻く環境も改善されてきていることから、2019年以降における日本からの旅行需要も回復に向かうものと期待されています。

UNWTOアジア太平洋合同会議出席 三カ年の主要取り組みテーマを発表

国連世界観光機関(UNWTO)は6月19・20日、フィジーで「UNWTOアジア太平洋・南アジア地域合同会議」を開催しました。

会議では、議長国のインドネシアや各国代表から過去12カ月間の事業活動報告が行われたほか、UNWTOのブラブ・ポロリカシユヴィ

リ事務局長は、2018年から2020年までの3年間にUNWTOが取り組む主要なテーマである「Accessible Tourism」



UNWTOアジア太平洋・南アジア地域合同会議の様子

Technology」「TSA (Transportation Security Administration)」が中心となります。

JATAからは澤邊宏国際センター長が会議に出席し、持続可能な観光の発展が政策立案の時代から具体的な取り組みを検証する時代に入っており、各国の持続可能な観光開発政策を官民連携による活動につなげていくことができるか、具体的な事例に基づいて検証することが求められている、と提言しました。

「海フェスタにいがた」へツアー実施 「海の日」の意義などを考える機会に

JATAは7月28日、会員企業の社員と家族・友人などを対象に「海フェスタにいがた」ツアーを実施しました。

日本最大級の海の祭典「海フェスタ」は今年、新潟開港150周年を迎える新潟市などで7月14日から29日までの15日間にわたって開催されており、ツアーでは新潟市歴史博物館(みなどびあ)や「水と土の芸術祭」メイン会場、マリニピア日本海、新潟ふるさと村などを訪れています。

猛暑の中、新潟港の150年に及ぶ歴史・文化にふれるツアーに参加した114人にとっては、「海の日」の本来の意義や「地域の魅力」について考える機会となり、有意義な夏の1日を過ごしました。

北海道支部

8月24日〜26日 北海道海外旅行フェア
2018 in アカプラ

8月27日 幹事会

東北支部

8月22日 幹事会

9月5日 海外教育旅行セミナー in 盛岡

関東支部

8月30日 海外旅フェスタ in 藤沢

中部支部

8月21日 研修委員会
8月23日 幹事会

関西支部

8月22日 現場担当者のための「受注型企画旅行」実務講座
8月23〜24日 幹事会

9月10〜12日 国内旅行委員会および研修旅行

九州支部

8月23日 アウトバウンド学生提案コンテスト
8月24日 インバウンド学生提案コンテスト
8月24日 二次審査会

9月7日 九州インバウンド未来へのトラ

9月8日 「飛び出せ海外へ」(福岡空

9月10日 クイーンズランドワークショップ

沖縄支部

8月17日 環境保全活動